

2012. 9. 10

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2012年 第2四半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その  
「概要」をお届けします。  
ご高覧下さるよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2012年第2四半期)

2012年4-6月のわが国の景気は、依然として厳しい状況にあるものの、震災復興需要を背景に緩やかに回復しつつある。

化繊景況は、自動車関連需要は堅調に推移したが、衣料用は高水準の製品輸入が続く中、盛り上がりには欠けた。化繊生産は前年比3.0減の25.2万トンであった。

### 国 内

1) 国内景気は、復興需要に加え個人消費が底堅く推移したが、欧州の債務危機、中国・新興国の景気減速など、海外景気の下振れによる我が国の景気下押しリスクが懸念された。

繊維景況は、低めの気温が続いたため百貨店の夏物衣料の販売低調が続き、ダウンジャケット、ユニフォーム用は在庫調整が進展せず苦戦したが、出荷シーズンの保温肌着用は順調な展開が続いた。カーテン、カーペット用は、新規住宅着工件数・マンション契約率が堅調に推移したものの、製品輸入が主体となり恩恵を受けていない。カーシート、シートベルト、エアバッグ、吸音材等の自動車関連用途は、エコカー補助金効果と輸出車の回復により、堅調であった。震災復興関連では、帆布用など収束したのものもあるが、漁網用の出荷が順調で、新しくがれき処理用のフレキシブルコンテナや放射線遮蔽シートの需要が出てきた。

2) 生産指数は、繊維工業全体では前年比1.7%減、前期比1.2%減、化繊は2.6%減、0.5%減。紡績は5.2%減、0.4%増。在庫指数(期末)は、繊維工業全体が前期比1.3%増、化繊5.5%増、紡績3.1%増となった。(生産、在庫とも指数ベースの比較)

3) 繊維品輸出は、ドルベースで25.7億ドル・前年比0.4%減。また円ベースでも2,063億円・2.3%減。形態別(ドルベース)では、繊維原料・前年比4.3%減、糸類・1.4%増、織物類・0.4%減、二次製品他・0.8%増。仕向地別(ドルベース)では、全体の37.7%を占める中国が2.5%減の9.7億ドル、香港(10.7%減)、韓国(13.6%減)、台湾(7.5%減)、アセアン地域は、ベトナム(16.5%増)、タイ(19.2%増)・インドネシア(4.8%増)・マレーシア(0.1%減)となり、それ以外では米州(8.8%増)、西アジア(15.8%増)は増加したが、欧州(11.5%減)は低調であった。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 96.3 億<sup>ドル</sup>、前年比 1.3%増、また円ベースは 7,730 億円・0.6%減。形態別（ドルベース）では、繊維原料は 1.7 億<sup>ドル</sup>・26.4%減、糸類 3.8 億<sup>ドル</sup>・18.8%減、織物 3.9 億<sup>ドル</sup>・10.0%減、二次製品他 87.0 億<sup>ドル</sup>・3.8%増。仕出地別では、全体の 71.4%を占める中国が 0.1%減の 68.8 億<sup>ドル</sup>、韓国（5.6%減）、台湾（4.1%減）、アセアン地域ではベトナム（18.5%増）、インドネシア（10.0%増）、タイ（3.5%減）、マレーシア（12.1%増）、それ以外では、イタリア（9.4%増）、米国（17.7%減）となった。

#### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	11.4-6	12.1-3	12.4-6	前年比(%)	前期比(%)
輸出	千 <sup>ドル</sup>	2,584,954	2,382,112	2,574,510	-0.4	8.1
計	百万円	211,163	189,367	206,327	-2.3	9.0
繊維原料	千 <sup>ドル</sup>	444,194	426,757	425,244	-4.3	-0.4
糸類	〃	327,690	336,811	332,156	1.4	-1.4
織物類	〃	863,524	741,226	859,650	-0.4	16.0
二次製品他	〃	949,547	877,318	957,460	0.8	9.1
輸入	千 <sup>ドル</sup>	9,512,185	10,201,914	9,631,706	1.2	-5.6
計	百万円	778,036	809,018	772,988	-0.7	-4.5
繊維原料	千 <sup>ドル</sup>	234,497	197,208	172,656	-26.4	-12.4
糸類	〃	466,492	356,258	378,562	-18.8	6.3
織物類	〃	432,036	368,393	388,853	-10.0	5.6
二次製品他	〃	8,379,161	9,280,054	8,701,636	3.8	-6.2
(うち衣類)	〃	(6,950,692)	(7,884,210)	(7,207,786)	3.7	-8.6
輸出レート	円/ <sup>ドル</sup>	81.7	79.5	80.1	-1.9	0.8
輸入レート	円/ <sup>ドル</sup>	81.8	79.3	80.3	-1.9	1.2

(出所) 財務省

5) 化繊生産は 25.2 万<sup>トン</sup>・前年比 3.0%減、前期比 2.1%増、うちセルロース繊維は 4.3 万<sup>トン</sup>・3.1%増、1.0%減。合繊は 20.9 万<sup>トン</sup>・4.2%減、2.8%増。期末在庫は前年比 5.7%増、前期比 8.4%増、うちセルロース繊維が 0.5%減、0.2%減、合繊が 6.9%増、10.2%増であった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は 15.9 万<sup>トン</sup>・前年比 5.7%減。うち、繊維原料は 7.6 万<sup>トン</sup>・11.7%減、糸類 2.8 万<sup>トン</sup>・3.4%減、織物類（面積ベース）1.75 億<sup>m<sup>2</sup></sup>・1.5%減、二次製品 2.7 万<sup>トン</sup>・10.2%増であった。レーヨン S は 34.6%減、ナイロン F 82.9%増、ポリエステル F 25.0%減、ポリエステル S 26.1%減、アクリル S 14.8%減、織物類（面積ベース）ナイロン F 織物 7.2%増、ポリエステル F 織物 5.7%減、ポリエステル S 織物 1.2%増となった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は 31.2 万<sup>トン</sup>・前年比 2.0%減。繊維原料 1.1 万<sup>トン</sup>・19.1%減、糸類 5.0 万<sup>トン</sup>・4.3%減、織物（面積ベース）1.68 億<sup>m<sup>2</sup></sup>・6.0%減、二次製品 22.3 万<sup>トン</sup>・0.4%減、うち衣類 10.7 万<sup>トン</sup>・1.4%増となった。ナイロン F 14.1%減、ポリエステル F 0.3%増、ポリエステル S 19.7%減、ポリエステル紡績糸 17.0%減、織物類（面積）ポリエステル F 織物 18.6%減、ポリエステル S 織物 7.4%増であった。

### 化学繊維の主要指標

項 目	単位	11. 4-6	12. 1-3	12. 4-6	前年比 (%)	前期比 (%)
化繊生産	千トン	260.0	246.9	252.1	-3.0	2.1
セルロース	〃	42.1	43.9	43.4	3.1	-1.0
合 繊	〃	217.8	203.0	208.6	-4.2	2.8
化繊在庫	〃	91.2	88.9	96.4	5.7	8.4
セルロース	〃	15.3	15.2	15.2	-0.5	-0.2
合 繊	〃	76.0	73.7	81.2	6.9	10.2
化繊輸出	千トン	168.5	161.7	159.0	-5.7	-1.7
	100万ドル	1,620.0	1,526.1	1,640.4	1.3	7.5
	億円	1,323.2	1,213.6	1,314.7	-0.6	8.3
繊維原料	千トン	86.1	83.7	76.1	-11.7	-9.1
糸 類	〃	28.9	30.1	28.0	-3.4	-7.1
織物類	百万 m <sup>2</sup>	177.3	151.9	174.6	-1.5	14.9
二次製品	千トン	24.1	22.4	26.6	10.2	18.5
化繊輸入	千トン	318.0	322.4	311.6	-2.0	-3.3
	100万ドル	3,792.4	4,416.1	4,075.0	7.5	-7.7
	億円	3,101.1	3,500.0	3,270.7	5.5	-6.5
繊維原料	千トン	14.0	12.7	11.4	-19.1	-10.4
糸 類	〃	52.6	50.5	50.4	-4.3	-0.3
織物類	百万 m <sup>2</sup>	178.1	165.7	167.5	-6.0	1.1
二次製品他	千トン	223.9	231.3	223.1	-0.4	-3.5
(うち衣類)	〃	(105.7)	(117.1)	(107.2)	1.4	-8.5

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

#### 6) 主要合繊品種の動向は次の通り。

**ポリエステルF**：生産は 44,512 トン・前年比 0.4%減。織物生産 9,892 万 m<sup>2</sup>・4.3%減。

衣料用途は、昨年荷動きのあったブラックフォーマルの在庫調整が長引いている。ダウンジャケットやアウトドアなどの高密度織物が 2011 年シーズンの「作り過ぎ」による生地・製品の在庫調整が進まず苦戦し、北陸産地では稼働率低下が著しい。自動車関連用途のカーシート、シートベルト、ゴム資材向けはエコカー補助金効果や輸出車の回復により堅調に推移、一方タイヤコードは高水準の織物輸入が続き苦戦した。カーテン向けは住宅着工件数、マンション契約率が堅調であるが、製品輸入が主体のため恩恵を受けず。合繊メーカーは、震災被災地のがれき処理のためのフレキシブルコンテナや放射線遮蔽シートに注力している。

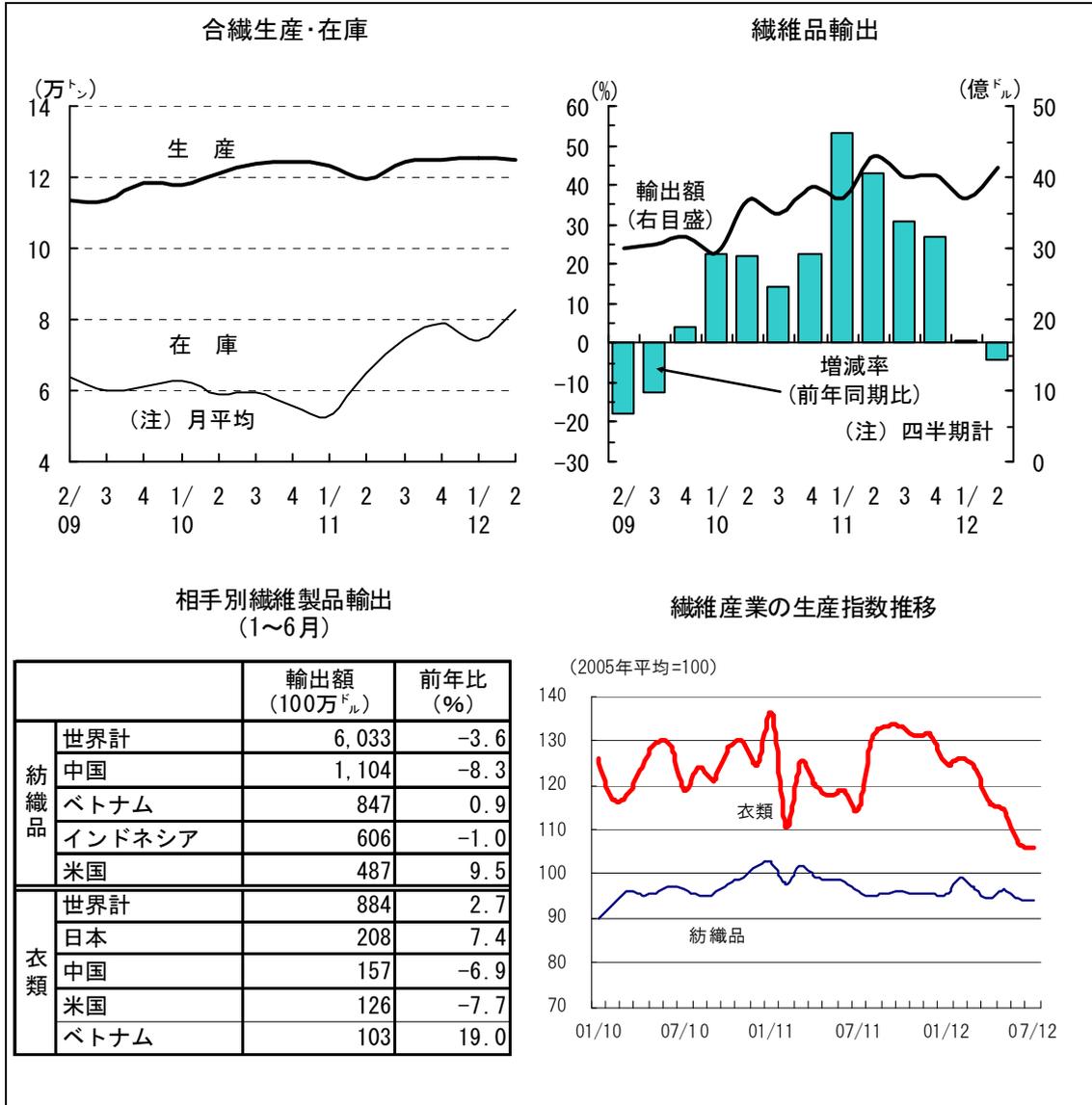
**ポリエステルS**：生産は 37,678 トン・前年比 5.4%減。紡績用は主力のユニフォーム向けの在庫調整が進まず苦戦、震災需要で急増した純糸使いの帆布・重布向けが収束してきた。製綿用は端境期に加え、ふとん製品の店頭販売が振るわず低調が続いた。不織布用は、衛材向けが堅調に推移したものの、ウェットティッシュ、ワイピ

ングクロスなどの生活資材向けが輸入製品・原反に侵食されてジリ貧の状況。車輛向けはエコカー補助金効果等で堅調に推移。湿式不織布向けは、水処理関係で製紙メーカーの備蓄生産により順調であったが、フィルター関係は家電業界の業況悪化で停滞気味。

**ナイロンF**：生産は 24,292 トン・前年比 6.2%増。織物生産は 3,237 万㎡・同 3.9%減。衣料用は、プレーンパンストが好調を持続、実用品として定着したレギンス・トレんカはクールビズ対応で冷感機能品が登場し、品揃えが豊富になった。輸出比率の高いアウトドア向けは主力の欧州マーケットにおいて、景気悪化や円高の長期化で富裕層向け高級品に陰りが出てきた。自動車関連用途ではエアバッグ、オフロード車用タイヤコード向けが堅調。船舶係留用ロープ向けは、新造船の受注残が少なくなり、苦戦に転じた。タイルカーペット向けは、震災で遅れていた一般建築物の竣工が相次ぎ堅調。

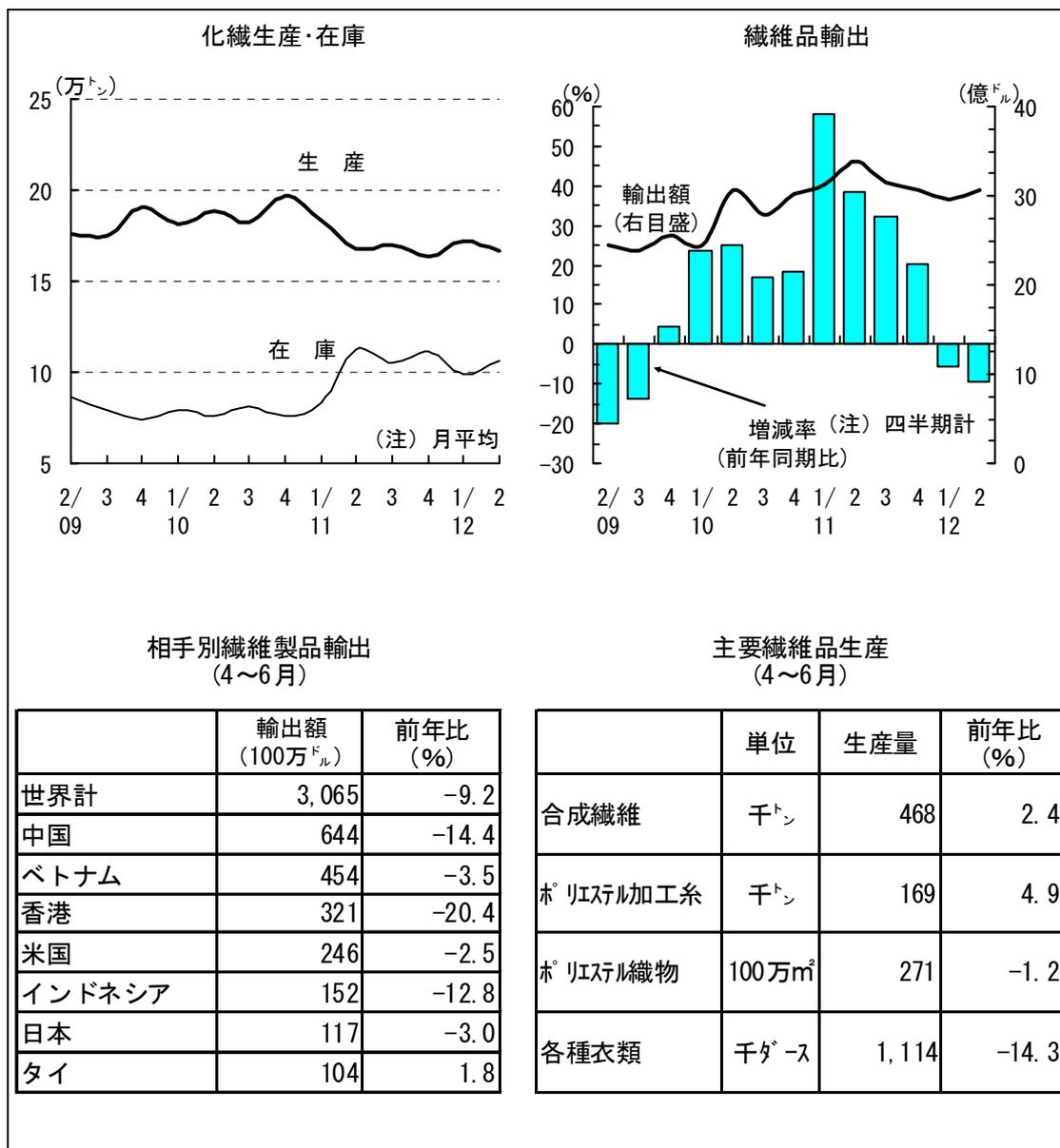
**アクリルS**：生産は 34,556 トン・前年比 14.0%減。紡績糸生産は 2,748 トン・同 9.9%減。保温肌着用の出荷は前年並みで推移、2012 年シーズンに向けて慎重な見方が強いものの、大手SPAが積極展開している東アジア地域での販売増に期待。靴下、マフラー、レッグウォーマー向けも順調。一方、輸出は最大仕向地の中国が不振、これは「中国のユーザーが1-3月に買い過ぎた、フェイクファーを中心とした中国から欧州向けの再輸出品が債務危機による景気悪化で落ち込んだ、AN（アクリロニトリル）価格の急落でステープルの先安感が台頭して中国のユーザーが買い控えた」ことなどが要因。

7) 韓国



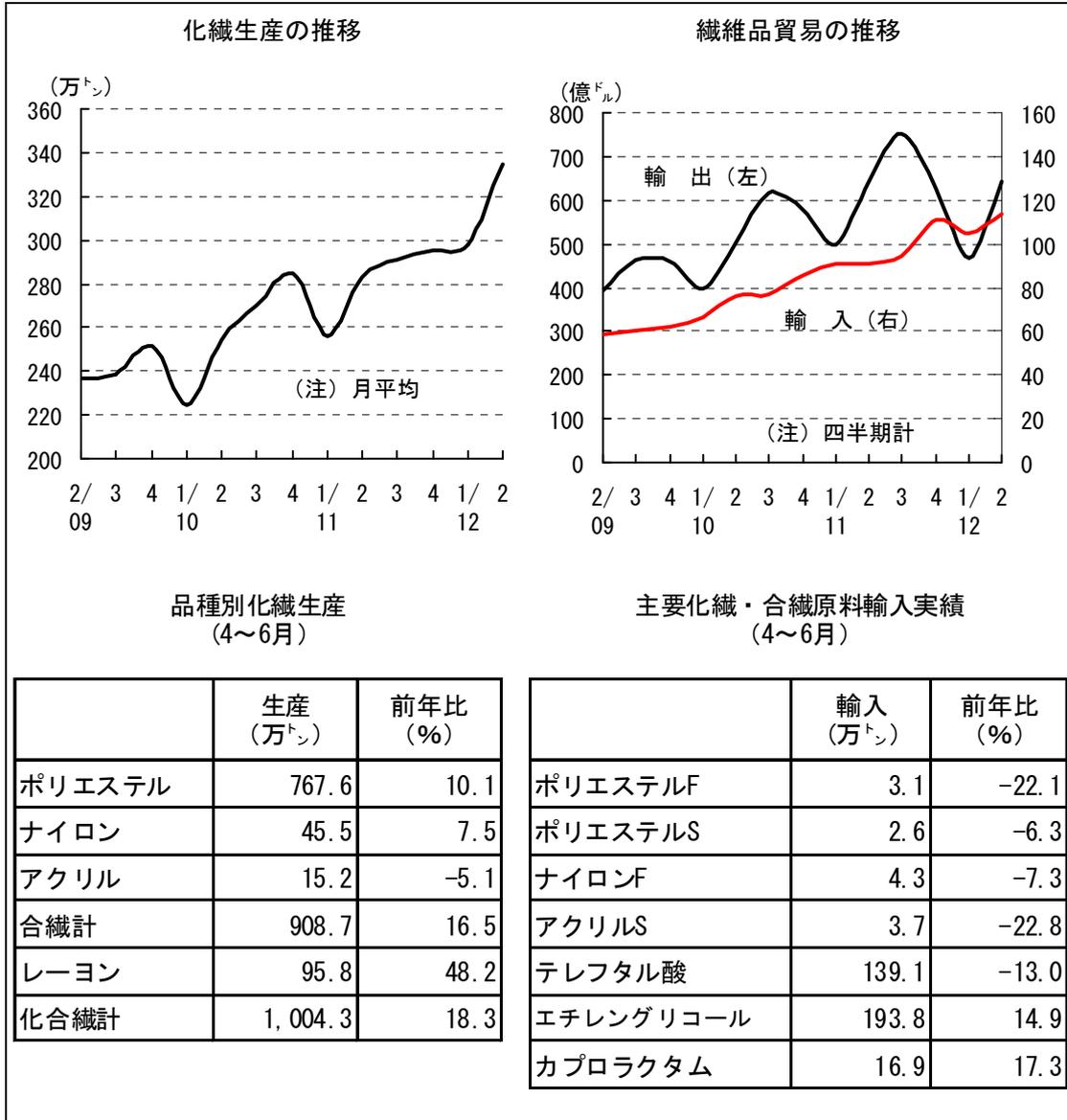
- ◆合繊生産は前年実績比増を維持したが、繊維品輸出は前年実績割れとなった。
- ◆第2四半期の合繊生産(4-5月実績から推定)は前年同期比5%増の38万トン。一方で、期末在庫は8万トン台と高水準が続いている。
- ◆第2四半期の繊維品輸出は前年同期比4.0%減の41.3億ドル、2009年第3四半期以来、11期ぶりに前年実績を下回った。1-6月の繊維品輸出を相手別にみると、紡織品では、これまで好調であったベトナム向けが微増にとどまり、中国向けは8.3%減となった。一方で、3月に韓米FTAが発効した米国向けは9.5%増となった。衣類は全体で2.7%増、中国、米国向けが減少したが、日本、ベトナム向けが好調となった。
- ◆直近(2012年7月)の繊維品の生産指数をみると、紡織品は前年同月比1.8%減、衣類は7.8%減と、ともに減少となった。

8) 台湾



- ◆化繊生産は 2 期ぶりの減産、繊維品輸出は前期に続き前年実績割れと、繊維産業の業況は厳しい状況が続いている。
- ◆第 2 四半期の化合繊生産 (4-6 月) は前年同期比 0.4%減の 50.1 万トン、合繊の期末在庫は前年同期比 0.3%減とほぼ横ばいとなった。主要合繊の生産は、ポリエステルSを除き、前年実績割れとなった。
- ◆第 2 四半期の繊維品輸出は、前年同期比 9.2%減の 30.7 億ドル、主力の中国向けは 14.4%減と不振が続いているほか、ベトナム向けが 3.5%減、米国向けが 2.5%減、インドネシア向けが 12.8%減と主力仕向国が軒並み減少となった。
- ◆主要繊維品の生産は、ポリエステル加工糸は 4.9%増と増産に転じたが、ポリエステル織物、衣類生産はそれぞれ 1.2%減、14.3%減となった。

9) 中 国



- ◆繊維生産は拡大しているが、繊維品輸出は前年比横ばいと 2011 年に入り大幅な鈍化となっている。このため、中国市場で化繊の需給は軟化傾向にあるとみられる。
- ◆第 2 四半期 (4-6 月) の化繊生産は 18.3% 増の 1,004 万トンとなった。品種別には主力のポリエステルは 10.1% 増の 768 万トン、ナイロンは 7.5% 増の 46 万トン、アクリルは 5.1% 減の 15 万トン、レーヨンは 48.2% 増の 96 万トンとなった。
- ◆繊維品輸出 (4-6 月、以下同様) は前年同期比 0.1% 増の 644 億ドルとほぼ横ばいとなった。一方、繊維品輸入は 24.6% 増の 113 億ドルとなった。
- ◆主要化繊の輸入をみると、いずれも前年実績割れとなった。一方、合繊原料輸入は、テレフタル酸は 13.0% 減となったが、エチレングリコールは 14.9% 増、カプロラクタムは 17.3% 増といずれも 2 桁増となった。

相手別繊維製品輸出 (1～6月)			繊維業界の主要指標 (1～6月)			
	輸出額 (億ドル)	前年比 (%)		単位	指標	前年比 (%)
世界計	1,171	2.2	企業数	万社	3.7	-
アジア	517	4.8	赤字企業数	万社	0.7	43.5
香港	77	1.8	主要業務収入	億元	25,739	9.7
日本	128	3.7	利潤総額	億元	1,148	-1.9
韓国	27	-13.6	工業総生産額	億元	26,647	11.3
アセアン	115	22.4	就業人数	万人	965	-1.3
EU	219	-11.9	繊維産業実際投資	億元	3,404	15.2
米国	183	7.4	うち化繊産業	億元	378	24.9

社会小売財消費総額 (1～6月)				繊維関連物消費者物価指数 (1～6月)	
	単位	数値	前年比 (%)		前年同月比 (%)
商品売上総額	億元	98,222	14.4	消費者価格指数・全製品	2.2
うち繊維品等	億元	4,538	16.9	消費者価格指数・衣類等	2.9

- ◆2012年1-6月の相手別の繊維製品輸出をみると、最大の仕向地であるEU向けは、域内景気の不振から11.9%減と大きく落ち込んだ。米国向け、日本向けはそれぞれ7.4%増、3.7%増で堅調に推移した。一方、アセアン向けは22.4%増と引き続き大幅な増加となった。
- ◆1-6月の繊維産業の業績、投資に関する主要指標をみると、主要業務収入は9.7%増となったが、利潤は1.9%減と減益、赤字企業数が前年同期比43.5%の大幅増となった。繊維産業の実際完成投資は15.2%増、化繊産業は24.9%増と、その伸びは鈍化しているが大幅増が続いている。繊維産業の就業人数は前年同期比1.3%減の965万人、前期末からは22万人が減少した。
- ◆繊維産業の衣料用内需は比較的好調に推移している。1-6月の繊維品商品売上は前年同期比16.9%増となった。一方、物価指数は前年同期比2.9%増となった。

## 10) 米 国

### ・合織生産

2012年1～7月の合織生産は前年同期比2.6%増の164.3万トンであった。主要品種別にみると、ナイロンFは産資用が6.8%増の4.4万トン、紡織用が微増(1.3%増)の1.8万トンとなったが、主力のカーペット用が住宅販売の不振と素材転換によって6.6%減の26.3万トンと減少したことから、全体で4.6%減の32.4万トンとなった。

ポリエステルFは主力のカーペット用が11.0%増の15.7万トンと好調で、全体で2.6%増の32.8万トン。ただし6月以降の受注が遅れ気味のため、下半期の生産は減速の見通し。ポリエステルSは3.2%増の37.6万トン。詰め綿向けが15.1%増、不織布向けが13.6%増といずれも2桁増となった。

オレフィンFは、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーが8.5%の出荷増と堅調で、生産は全体で6.5%増の50.2万トン。オレフィンSも6.0%増の11.2万トンといずれも6%前後の増加となった。

### 主要合織の生産高(1～7月)

(1000トン)

	2011	2012	増減	前年同期比(%)
ナイロンF	339.9	324.4	-15.6	-4.6
産資用	40.8	43.5	2.8	6.8
カーペット用	281.5	262.9	-18.6	-6.6
紡織用	17.6	17.9	0.2	1.3
ポリエステルF	319.8	328.2	8.4	2.6
産資用	72.5	65.3	-7.2	-9.9
カーペット用	141.6	157.1	15.5	11.0
紡織用	105.7	105.8	0.1	0.1
ポリエステルS	364.3	376.0	11.7	3.2
オレフィンF	471.6	502.2	30.6	6.5
オレフィンS	105.7	112.0	6.4	6.0
合織計	1,601.4	1,642.8	41.5	2.6

(出所) Fiber Organon

### ・輸 入

2012年の1～6月の繊維製品輸入は前年同期比0.5%増の472.2億ドルとなった。仕出地別にみると、中国が1.8%増の176.4億ドルにとどまり、中国の輸入全体に占める割合は前年同期の38%から37%に低下した。これに対し、低コスト国のベトナムは6.2%増の35.8億ドルと増加した。米国国内市場の不振を反映し、衣料輸入は0.6%減の353.3億ドルであった。中国が0.4%増、メキシコが0.8%増とほぼ横ばいであった一方、ベトナムは6.5%増と増加した。

繊維製品輸入実績（１～７月）

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2011年	2012年	前年比(%)	仕出地	2011年	2012年	前年比(%)
中国	17,336	17,639	1.8	中国	11,993	12,034	0.4
ベトナム	3,369	3,577	6.2	ベトナム	3,096	3,299	6.5
インド	3,093	3,116	0.7	インドネシア	2,540	2,490	-2.0
インドネシア	2,686	2,626	-2.2	バングラデシュ	2,355	2,311	-1.9
メキシコ	2,321	2,318	-0.1	メキシコ	1,831	1,845	0.8
世界	46,977	47,223	0.5	世界	35,556	35,330	-0.6

(出所) 米商務省

11) 欧 州

・合繊生産

合繊生産は長繊維の減少が顕著となっている。産資用ナイロンFはタイヤコード用の不振で前年同期比7.4%減の5.8万ト、紡織用ポリエステルFは17.9%減の12.1万ト、産資用ポリエステルFは8.6%減の7.4万トと減少した。短繊維はポリエステルSは0.6%増の33.2万トであったが、アクリルSは4.9%増の30.0万トと増加した。

主要合繊の生産高（１～６月）

(1000ト、%)

	2009	2010	2011	2012	前年比
産資用ナイロンF	41.6	57.4	62.4	57.8	-7.4
紡織用ポリエステルF	99.4	139.5	147.0	120.7	-17.9
産資用ポリエステルF*	43.6	70.6	80.8	73.9	-8.6
ポリエステルS*	237.8	324.5	329.6	331.8	0.6
アクリルS	253.6	291.0	285.9	299.8	4.9

(出所) CIRFS (注) \*2010年よりベラルーシを含む

・企業動向

トルコのアクリル繊維メーカーAksa Akrilik Kimya Sanayii は、米化学大手 Dow Chemical の子会社 Dow Europe と折半出資で炭素繊維及び関連製品の合弁会社を設立することで合意した。また Aksa はトルコ北西部 Yalova の炭素繊維工場で年産 1,700 ト規模のセカンドラインを建設する計画を発表、既存ライン (1,500 ト/年) も年産 300 ト増設する。

イタリアの Miroglia および Sinterama がポリエステルFの製造・販売で提携すると発表した。製造面で、Miroglia のイタリアおよびブルガリア、Sinterama のイタリア、英国、トルコ、ブラジル、中国の各工場を再強化・最適化する。販売面では衣料用長繊維を専門とするビジネスユニットを形成する。

オーストリアの Lenzing AG はリヨセル繊維 Tencel 工場の新設を同国 Lenzing で着工した。年産 6.7 万ト規模で 2 年後に完成予定。同社は、オーストリア Heiligenkreuz、英国 Grimsby、米国 Mobile の 3 工場 Tencel を製造し、3 工場をあわせた生産能力は年産 14 万ト。Mobile 工場 1 万トの増設が進められている。

## 合繊4品種需要実績 (2012年4～6月)

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2012年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	19,202	94.7	90.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	50,052	95.5	103.3
	計	69,254 (28,410)	95.3 (95.4)	99.4 (100.3)
輸出 (原糸、加工糸)		1,950	43.3	54.0
需要計		71,204	92.2	97.2
在庫		16,572	120.3	110.5

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2012年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む。)	4,844	98.3	86.3
	非紡績用 (加工品輸出用含む。)	29,684	88.1	106.2
	計	34,527 (5,172)	91.9 (69.8)	106.7 (80.3)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		5,031	75.4	56.4
需要計		39,557	89.4	95.8
在庫		23,143	103.0	101.4

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2012年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	9,000	97.9	84.9
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	16,131	99.8	100.5
	計	25,131 (6,305)	99.1 (105.0)	94.3 (86.0)
輸出 (原糸、加工糸)		5,367	95.7	201.5
需要計		30,498	98.5	104.0
在庫		8,734	97.8	79.9

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステープル需要実績

(単位:トン、%)

		2012年4～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	7,304	102.5	89.4
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,367	86.4	74.8
	計	9,671 (138)	98.1 (40.9)	85.3 (34.2)
輸出 (ステープル・トウ・トップ)		23,620	82.4	77.9
需要計		33,291	86.4	80.0
在庫		11,112	111.7	137.8

(注)国内需要の( )内数値は輸入量